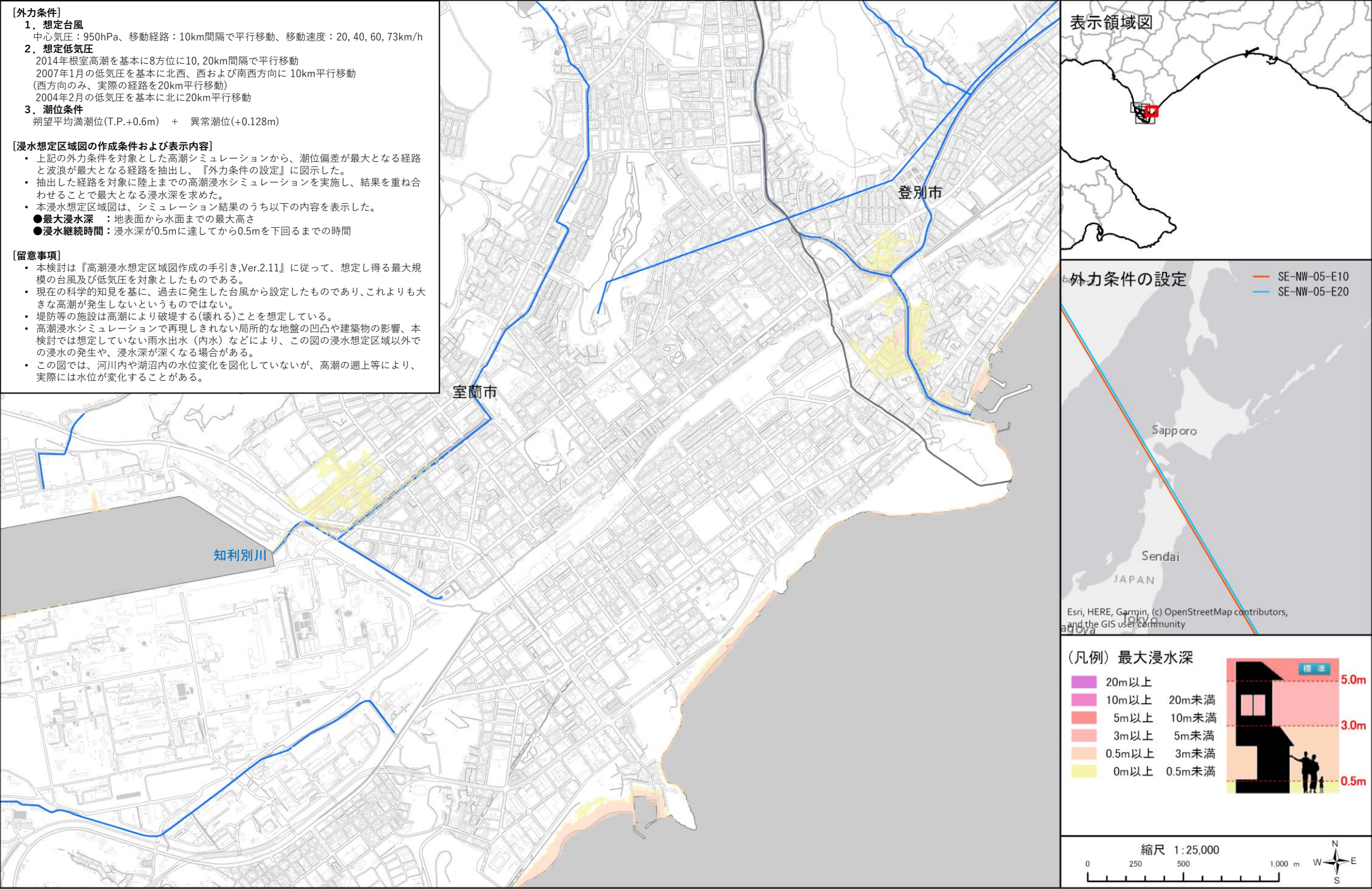
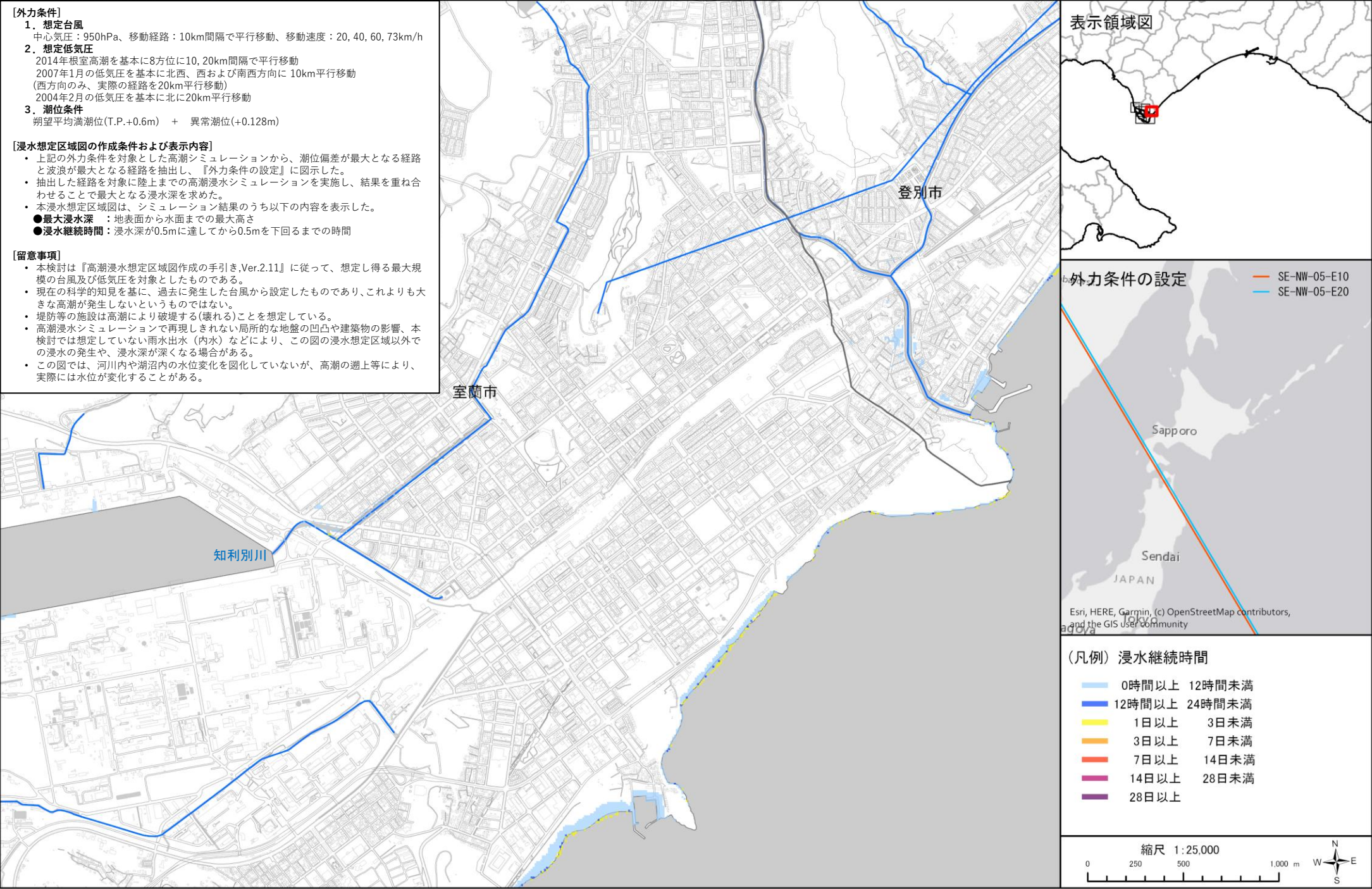


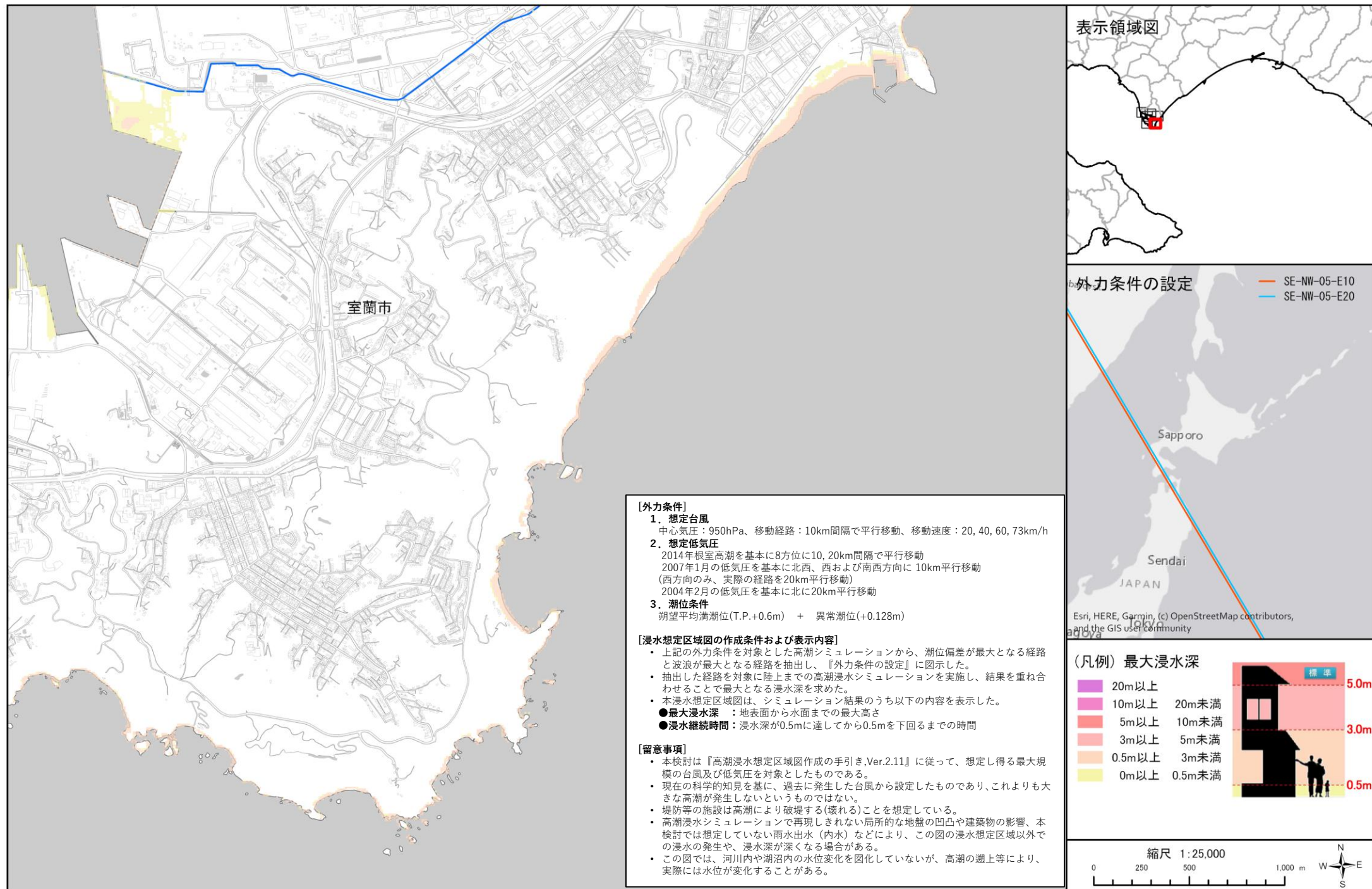
高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 1/ 6】



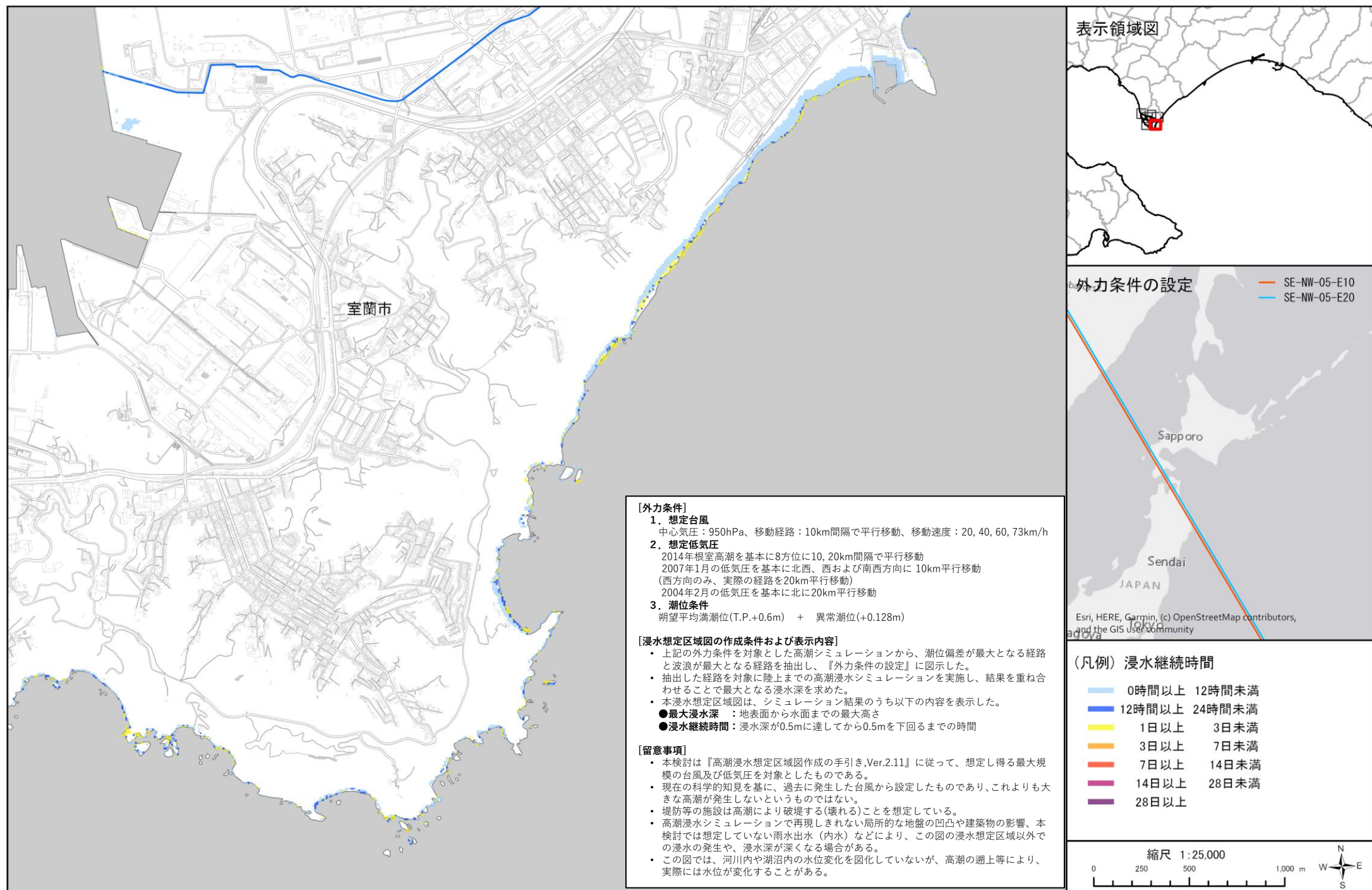
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 1/ 6】



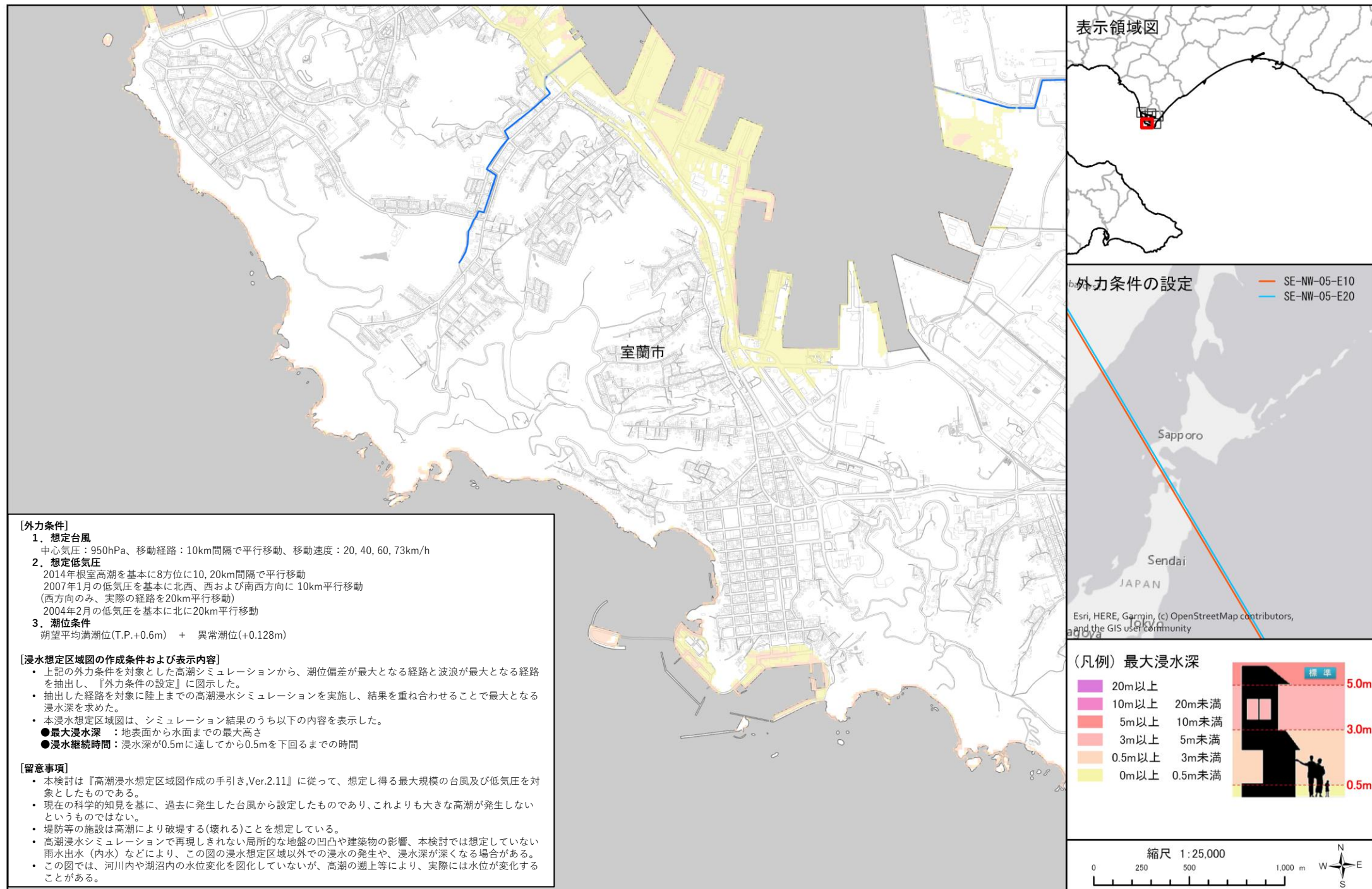
高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 2/ 6】



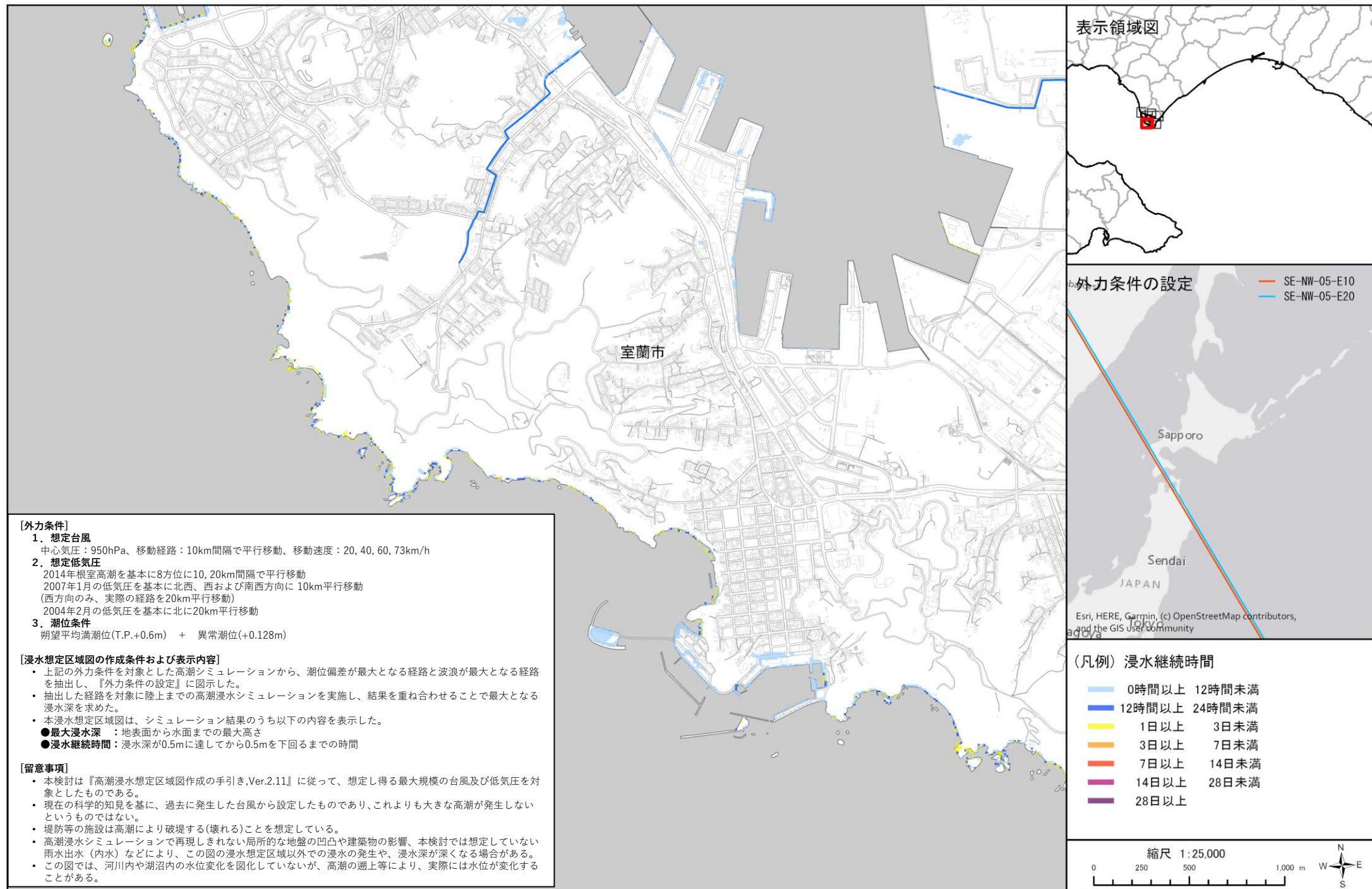
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 2/ 6】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 3/ 6】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 3/ 6】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 4/ 6】

【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

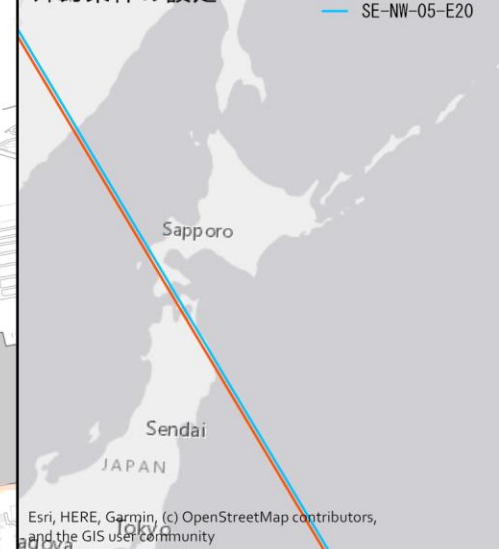
【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

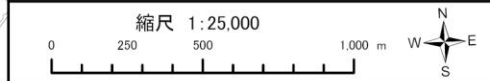
表示領域図



外力条件の設定



(凡例) 最大浸水深



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 4/ 6】

【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

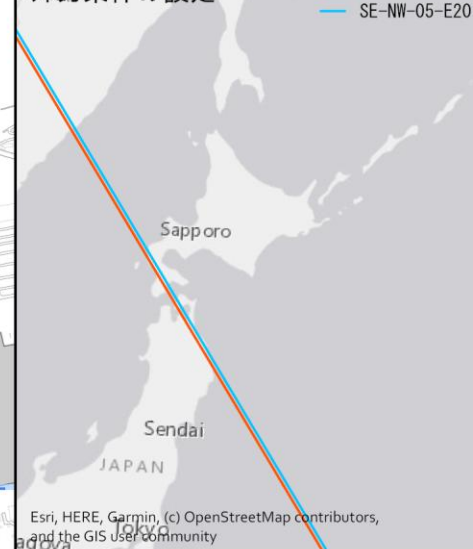
【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図



外力条件の設定



(凡例) 浸水継続時間

- | |
|---------------|
| 0時間以上 12時間未満 |
| 12時間以上 24時間未満 |
| 1日以上 3日未満 |
| 3日以上 7日未満 |
| 7日以上 14日未満 |
| 14日以上 28日未満 |
| 28日以上 |



高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 5/ 6】

【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動（西方向のみ、実際の経路を20km平行移動）
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

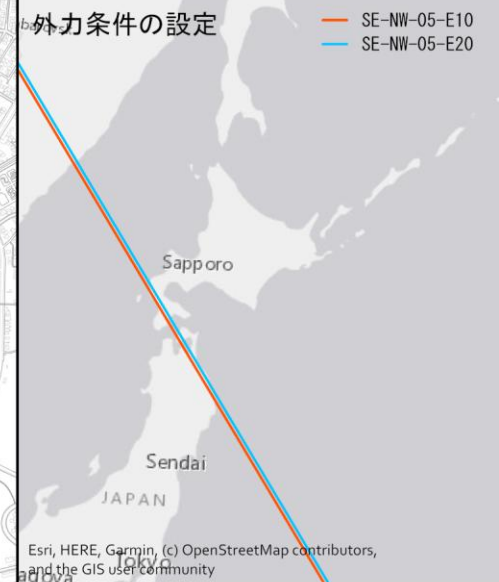
【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図



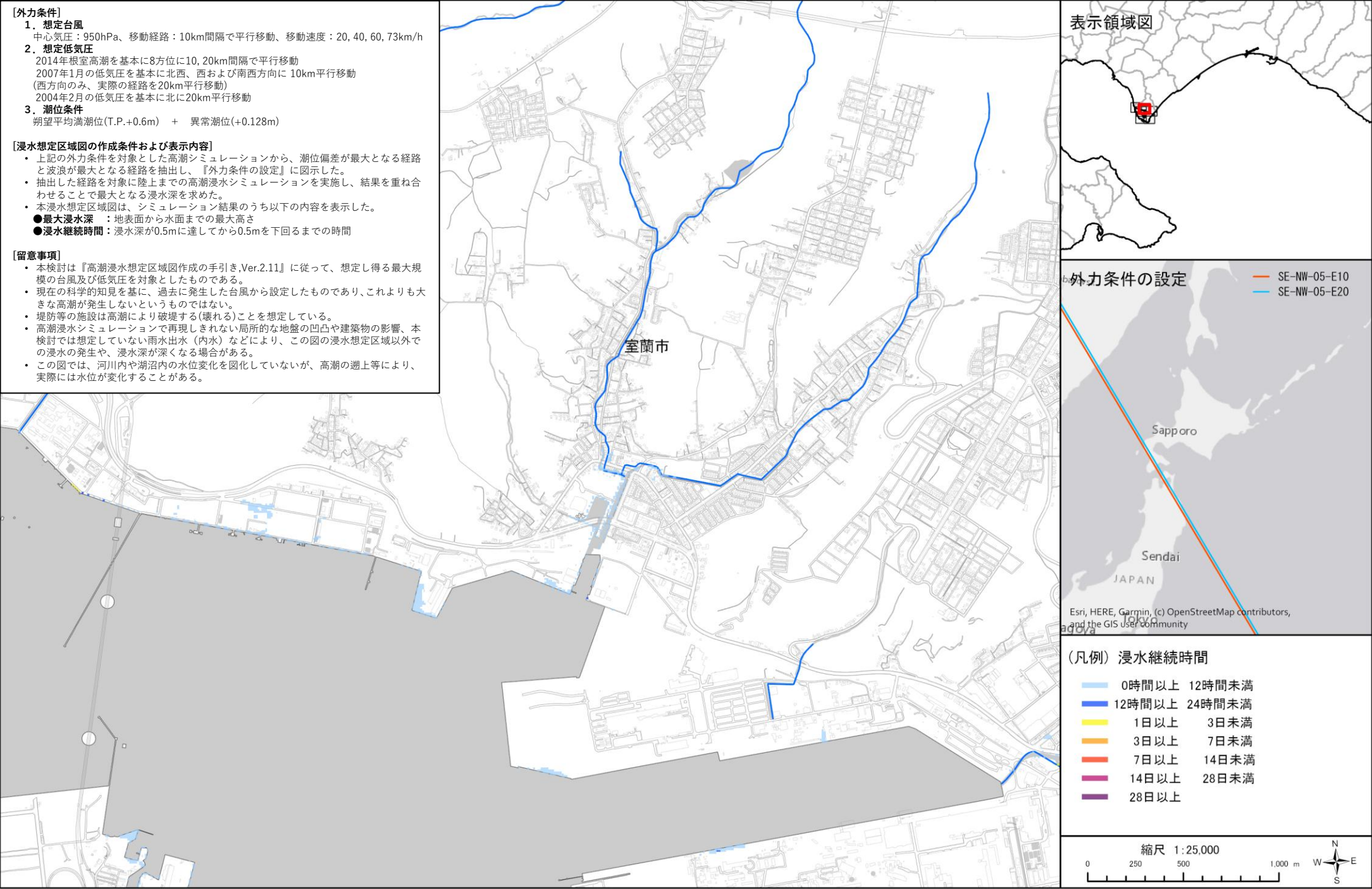
外力条件の設定



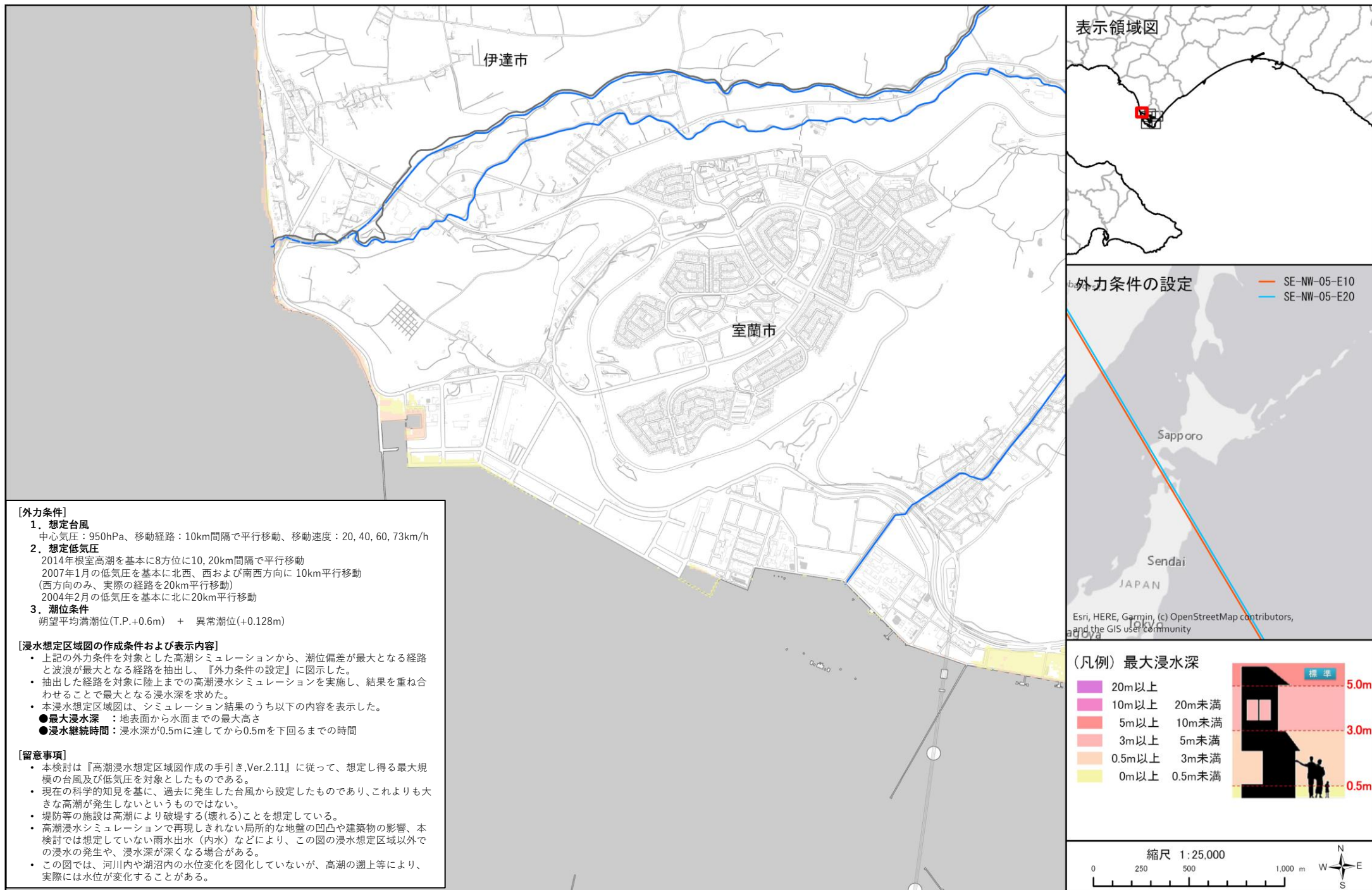
（凡例）最大浸水深



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 5/ 6】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【室蘭市 6/ 6】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【室蘭市 6/ 6】

